

利用者・入居者の皆さんの想いによりそってお手伝いをさせていただいています。

私たちひなたぼっこは平成 17 年にNPO法人ひなたぼっことしてスタートし、途中から社会福祉法人ひなたぼっことして下記の事業を行っています。私たちは全日本民主医療機関連合会に所属し、全国 1700 の病院、診療所、施設、職員 8 万と連帯しながら、地域住民の立場で、差別なく平等の医療や福祉を目標に日々がんばっています。

また、全国 360 万人を組織する女同組織である友の会活動に着手しながら、助け合い事業を行っています。



ケアハウスの
楽しい行事



ひなたぼっこ 10 周年、地域の皆さんに支えられて運営しています。感謝しております。

何をあいても研修第一、スキルアップに全職員が努めています。



レクの際に牛乳パックやビニール袋、新聞紙などを使って、利用者の皆さんと「池で悠々と泳ぐ鯉」を作りました。とても楽しく作ってくださったのですよ。それを食堂の壁に飾っておいたら、ある男性の利用者さんがじっと見て一言、「この鯉たちは、夜になったら、この中を泳ぎだすかも知れませんね。」とつぶやくようにおっしゃいました。詩人ですね。

いろいろな利用者の方々の、言葉や人生と触れ合え



社会福祉法人ひなたぼっこの連絡先

本部（富士見町富士見 11650-1）

（電話 0266-61-2335）（FAX 0266-61-2336）

宅幼老所ひなたぼっこ（所長：油井優美子）

（電話 0266-61-2335）

グループホームひなたぼっこ（所長：樋口雅之）

（電話 0266-61-2223）

ケアハウスひなたぼっこ（所長：樋口義男）

（電話 0266-70-0008）

居宅介護支援センターひなたぼっこ（所長：眞田美栄）

（電話 090-3236-4002）

ホームページは「ひなたぼっこ富士見」で検索を

私達も元気で働いています。ぜひ、一緒に働いてみませんか？



宅老所の毎月の誕生日会



毎年の地元の神楽祭に参加し、お守りを持ち帰ります。↑



↑楽しい夏祭り

↑ひなたぼっこには長年培われたノウハウを的確に教えてくれる先輩方がいます。介護のベテランの方、社会でキャリアを重ね多くの資格を持つ方などスペシャリストがいます。業務で息詰まったときなどのヘルプにも応えてくれます。見捨てられることはありません。必ず応えてくれます。仕事は、見て、盗んで覚えるものだと言われますがひなたぼっこでは違います。人を育てる場、学びの場でもあると思います。こうした先輩方を通じてあきらめていた介護でのスキルアップにも挑戦してみようと考えようになりました。(K・I)

私は結婚を機に横浜から富士見町へ嫁ぎ、現在、フルパートの身分で宅老所勤務しています。ひなたぼっこは一トートに合った働き方ができます。例えば、私の場合は夫の仕事が休みの日に合わせてお休みをもらったりできるので、仕事とプライベートの面立がしやすいです。また、ひなたぼっこは条件を満たせば、パートでも産休育休の取得ができるので安心して働くことができます。(E・W)

三時のみやつの時間です↓



私は4月にパートで就職しました。パート職員は任意でしたが、互助会に加入しました。この互助会は常勤職員もパート職員も月々の給料に応じた安い会費で入会でき、歓迎会からはじまり、食事会や温泉お楽しみ会など毎月のように親睦会があります。上下の区別もなく楽しめ、法人内の施設間で交流ができます。また、自己啓発や家族旅行、美術館入館などにも補助金が出ています。秋には旅行もあり、とても優しい互助会です。その日を楽しみに日々頑張っています。(Y・K)